

目標達成計画及び自己評価結果を公表します

介護保険のサービスのうち、認知症対応型共同生活介護については、運営基準により、原則として年1回自己評価及び外部評価（第三者評価）を実施することが義務付けられています。

ここでは、評価結果を踏まえた目標達成計画と自己評価結果について公表します。これらは、事業者の責任で作成されたものです。内容については、各事業者にお問い合わせください。

目標達成計画について

- 各事業者は、自己評価及び外部評価（第三者評価）結果を踏まえて、目標達成計画を作成します。
- サービスの質の改善及び向上に向けて、今後、どのように取り組んでいくのかを具体的に記載します。

公表している自己評価の結果について

- 自己評価は、各事業者が、提供するサービスについて自ら評価・点検し、サービス水準向上に向けた自発的な努力に結びつけるものです。
- 自己評価の項目は、第三者評価の共通評価項目と同じです。外部評価（第三者評価）における訪問調査の前に、自己評価を実施します。
- 公表内容は、自己評価で実施が確認できた標準項目数を記載しています。

※ なお、外部評価（第三者評価）の結果は「とうきょう福祉ナビゲーション」の第三者評価のページで公表しています。事業所情報の詳細ページからも、[評価情報詳細](#)のボタンをクリックすれば、第三者評価の結果ページにいくことができます。

サービス種別	認知症対応型共同生活介護
事業者番号	1391900071
事業所名	グループホーム「私の時間」
自己評価実施日	2024 年 10月 10日
目標達成計画作成日	2024 年 10月 10日

次のページより、目標達成計画及び自己評価結果を掲載しています。

目 標 達 成 計 画

サービス種別	認知症対応型共同生活介護
事業者番号	1391900071
事業所名	グループホーム「私の時間」

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6-6-2	年間を通して職員全員に同じ研修を行っているが、個々の職員の業務上の課題に応じた研修が不足している	個々の課題に応じた研修の実施及び研修成果の研修転移によりケアの質の向上	・個々の課題の洗い出しを行い、知識と技術の習得を目指す ・習得した知識と技術を具体的に活用し、実際の業務に反映させる	1年
2	6-6-1	細かく整備しているが、各種マニュアルの変更や更新の手順等が明確化されていない	各種マニュアルや手順を定期的に検討し、実態に合わせて変更し、その情報を共有する	・定期的に協議し、検討する場を設定し、その変更手順などをルール化する ・実態に合わせたマニュアル、手順書に更新する	1年
3	6-4-3	利用者自身が選べる「健康に役立つ体を動かす生活リハビリメニュー」が不足している	利用者自身の自立した日常生活を自ら選択し継続できるように支援する取り組み	・現状の生活リハビリメニューの洗い出しを行う ・新たな生活リハビリメニューを導入する	1年
4					
5					

注1) 項目番号欄には、関連する評価項目の番号(例: 6-4-1)を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること

標準手法用

サービス種別	認知症対応型共同生活介護
事業者番号	1 3 9 1 9 0 0 0 7 1
事業所名	グループホーム「私の時間」

※ 自己評価結果は、各評価項目に属する標準項目のうち、実施が確認できた項目数を記載しています。

※ 標準項目については、とうきょう福祉ナビゲーションの福祉サービス第三者評価のページに掲載しています。

<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/hyoka/datafile1.htm>

※ 非該当を適用することができる項目は、原則として、3-3-1-2 及び 3-3-2-1 のみです。

カテゴリー1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリー1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

評価項目	標準項目の実施状況	
	標準項目数	うち実施項目数
1-1-1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	2	2
1-1-2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	2	2
1-1-3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	3	3

カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

サブカテゴリー1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評価項目	標準項目の実施状況	
	標準項目数	うち実施項目数
2-1-1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	6	6

サブカテゴリー2 実践的な計画策定に取り組んでいる

評価項目	標準項目の実施状況	
	標準項目数	うち実施項目数
2-2-1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している	3	3
2-2-2 着実な計画の実行に取り組んでいる	2	2

カテゴリー 3 経営における社会的責任

サブカテゴリー 1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

評価項目	標準項目の実施状況	
	標準項目数	うち実施項目数
3-1-1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる	2	2

サブカテゴリー 2 利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

評価項目	標準項目の実施状況	
	標準項目数	うち実施項目数
3-2-1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている	2	2
3-2-2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている	2	2

サブカテゴリー 3 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

評価項目	標準項目の実施状況		
	標準項目数	うち実施項目数	非該当数
3-3-1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる	2	2	0
3-3-2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている	3	3	0

カテゴリー 4 リスクマネジメント

サブカテゴリー 1 リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

評価項目	標準項目の実施状況	
	標準項目数	うち実施項目数
4-1-1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる	5	5

サブカテゴリー 2 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評価項目	標準項目の実施状況	
	標準項目数	うち実施項目数
4-2-1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	4	4

カテゴリ 5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリ 1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

評価項目	標準項目の実施状況	
	標準項目数	うち実施項目数
5-1-1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている	2	2
5-1-2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している	2	2
5-1-3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる	4	4
5-1-4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる	4	4

サブカテゴリ 2 組織力の向上に取り組んでいる

評価項目	標準項目の実施状況	
	標準項目数	うち実施項目数
5-2-1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる	3	3

カテゴリ 6 サービス提供のプロセス

サブカテゴリ 1 サービス情報の提供

評価項目	標準項目の実施状況	
	標準項目数	うち実施項目数
6-1-1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	4	4

サブカテゴリ 2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目	標準項目の実施状況	
	標準項目数	うち実施項目数
6-2-1 サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている	3	3
6-2-2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている	4	4

サブカテゴリ 3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目	標準項目の実施状況	
	標準項目数	うち実施項目数
6-3-1 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している	3	3
6-3-2 利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の介護計画を作成している	3	3
6-3-3 利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している	2	2

様式 1 認知症対応型共同生活介護・標準の手法

6-3-4 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している	2	2
---------------------------------	---	---

サブカテゴリー4 サービスの実施

評価項目	標準項目の実施状況	
	標準項目数	うち実施項目数
6-4-1 認知症対応型共同生活介護計画に基づいて自立生活が営めるよう支援を行っている	3	3
6-4-2 利用者の状態に応じて、日常生活に必要なさまざまな作業等を利用者が主体的に行うことができるよう支援を行っている	4	4
6-4-3 利用者の健康を維持するための支援を行っている	4	4
6-4-4 共同生活が楽しく快適になるよう工夫している	3	3
6-4-5 事業所と家族等との交流・連携を図っている	4	4
6-4-6 利用者が地域で暮らし続けるため、地域と連携して支援を行っている	5	5

サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目	標準項目の実施状況	
	標準項目数	うち実施項目数
6-5-1 利用者のプライバシー保護を徹底している	3	3
6-5-2 サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している	2	2

サブカテゴリー6 事業所業務の標準化

評価項目	標準項目の実施状況	
	標準項目数	うち実施項目数
6-6-1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	3	3
6-6-2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	2	2

カテゴリー7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

様式 1 認知症対応型共同生活介護・標準の手法

サブカテゴリー 1 事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目 1

・事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その1）

【課題・目標】

事業所の理念・基本方針の実現を図るための重要課題（事業計画に掲げた事項等）、そしてその課題に対して前年度に設定した目標を記載します。（重要課題の中で、前年度中に達成すべきとしていた短期的な目標を記載する。）

年度目標

職員が自分の職場と仲間に自信を持つ。

○上記の課題を抽出した理由・背景

自分たちのサービスに自信を持つことで、いつ・どこで・誰に聞かれても「私の時間」の職員であることが言える状態にする。

【取り組み】

上記の目標を達成するために、前年度に行った具体的な取り組み（体制・期間・内容等）を記載します。

- ・職員ミーティングなどで決定事項・成功事例を共有し、「〇〇さんしかできない」から、「みんなできる」、誰にやってもらっても同じ状態にする。
- ・小チームを作り、チームごとにリーダーを配置した。サービス管理者がフォローに入りながらも各チームリーダーが中心になりサービスについての問題点を話し合い、ミーティングでさらに検討をすることによりミーティング内では活発な意見交換を行いサービスの質のアップを目指した。

【取り組みの結果】

前年度末までの取り組みの状況や目標達成の度合いを具体的に記載します。

- ・ミーティングの中では問題解決や成功事例の共有などが行われた
- ・ミーティングでの決定事項の共有が書面でしかできていないため、全職員にまでしっかり伝わっているか確認が取れていなかった。

【振り返り(検証)・今後の方向性】

【取り組みの結果】について検証した内容と、どのように今年度の目標設定や取り組みに反映したかを記載します。

- ・決定事項・成功事例の共有をもっとしっかり行い、安定したケアサービスになるように引き続き努めていく。
- ・パート職員からの意見の吸い上げがまだまだ足りていない部分があるため、意見を聞く機会を定期的に設ける必要がある。
- ・意見交流できる場を増やし、職員個人がサービスで悩んでいることなどにも目を向けて問題解決を行っていけるようにする。

評価項目 2

様式 1 認知症対応型共同生活介護・標準の手法

・事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2）

【課題・目標】

事業所の理念・基本方針の実現を図るための重要課題（事業計画に掲げた事項等）、そしてその課題に対して前年度に設定した目標を記載します。（重要課題の中で、前年度中に達成すべきとしていた短期的な目標を記載する。）

職場環境の整備をする。

○上記の課題を抽出した理由・背景

職員・入居者ともに見慣れた景色になっている施設をもっと安全かつ清潔で生活しやすい場所にするために職場環境を整える。施設環境が整備され生活しやすくなることにより入居者の満足度向上。また、動線が整えられ職員の業務効率が向上し、働く意欲を高めることでサービス向上にもつながる。

【取り組み】

上記の目標を達成するために、前年度に行った具体的な取り組み（体制・期間・内容等）を記載します。

・職員で話し合いを行い、施設の設備改善や交換するべきものをメモとして書き出し、全職員が目にする場所に掲示した。その掲示したメモの内容を元に設備の交換や改善を行い、達成度合いや成果を目にしやすくすることで、改善意欲の向上を図った。

【取り組みの結果】

前年度末までの取り組みの状況や目標達成の度合いを具体的に記載します。

・あらゆる場所の整備と物品交換の必要性が明らかになった。
・まだすべてが整ってはいないが、行動すれば少しずつでも変わっていくことに気づいた職員が増えてきて、ここも整備したほうが良いなどの意見が沢山でてくるようになり、参画意識が向上した。

【振り返り(検証)・今後の方向性】

【取り組みの結果】について検証した内容と、どのように今年度の目標設定や取り組みに反映したかを記載します。

・やっとスタートラインにたどり着いたという段階だと感じている。今後も継続して整理整頓や定位置決定などをしていき、入居者にとって生活しやすい場所かつ職員が働きやすい場所になるように改善していきたい。